情熱の奥州人 26

和太鼓で地域を元気に 親子での共演を夢見て

遠藤 国博 さん（40歳）
＝江刺区玉里字杁ノ木谷地＝

ひたいに汗をにじませ練習に熱が入る

「ドン・ドン・カッ・カッ・ドドド・ドン――」。和太鼓の迫力ある音が、山間の夜に鳴り響く。阿原太鼓同好会に所属する遠藤国博さんは、伊手地区センターで仲間と共に練習に打ち込む。平成5年に結成された同会。伊手地区を中心に、15人で活動している。

小学校から野球を始め、高校では甲子園を目指して白球を追った。卒業後、3年間の会社勤めを経て、現在の職場、江寿園に就職。幼少から常に傍らにいた祖母の影響もあり、高齢者と接することには慣れていた。現在は、介護現場の主任を務める。

江寿園に就職したころ、地元では和太鼓団体結成の機運が高まっており、当時の上司の勧めで和太鼓の世界に飛び込んだ。8年から16年まで事務局を務め、中心的な存在として同会をけん引。今は後輩を熱血指導している。来年、20周年の節目を迎える同会。1月の「伊手蘇民祭」、5月の「阿原山山開き」に毎年出演し、地域に根差した活動を展開している。太鼓をたたくだけでなく、工夫を凝らしたパフォーマンスが信条。躍動する熱演が、観客を魅了し続ける。

おととし開催された第2回東北オープンアームレスリング大会優勝の経歴を持ち、自慢の腕力を和太鼓に生かす。

「何事にも全力。若者に負けたくない」とチャレンジ精神旺盛な国博さん。いつか娘や息子と和太鼓で共演したいと、その情熱は尽きない。

えんどう・くにひろ◎昭和46年江刺区玉里字杁ノ木谷地に双子の兄として生まれる。養護老人ホーム江寿園の介護福祉士。妻、長女、長男、二男、両親の7人家族

CONTENTS

2　情熱の奥州人

4　特集 子どもが健やかに育つ環境を醸成しよう

8　まちの情報化すすめます

10　保育所・幼稚園の園児を募集

12　効果額は約４億７千万円 ― 第２次市行財政改革の実施状況

13　納め忘れのある人は「後納制度」の利用を ― 11 月は「ねんきん月間」

14　秋の物産イベント グラフ

15　奥州◇市民劇 ～後藤寿庵物語～「木洩れ日のように」 グラフ

16　「秋の叙勲・褒章」「危険業務従事者叙勲」「大臣表彰」 ～栄誉に喜びの声～

公用車の公売について

17　結 - ゆい-　～ 30 の地区振興会による協働のまちづくり実践事例～

18　市の出来事から

20　まちの話題

22　つながれ 広がれ ＮＰＯの輪

24　子そだて広場

市長コラム「おうしゅう羅針盤」

25　消費生活相談Ｑ＆Ａ

わが家のアイドル

子ども喜ぶ人気メニュー

26　キラリ人輝く

夢トーク

27　クラブ紹介

ぽんたのつぶやき

28　くらしの情報

32　奥州遺産

〈今月の表紙〉

ちびっ子郷土芸能祭が 10 月 28 日、歴史公園えさし藤原の郷で開催されました。同園主催の「平安秋祭（へいあんのあきまつり）」に併せて行われた催しで、市内の幼稚園や小学校３団体が地域の伝統芸能やよさこいを披露しました。 写真は、人首小学校（阿部和也校長・児童 52 人）の５、６年生 23 人による兄和田念仏剣舞（あにわだねんぶつけんばい）の一コマ。同校は、昭和 58 年から伝承活動に取り組んでいます。児童らの真摯（しんし）なまなざしが印象的でした。